

「有料化」って言うけど。どうする「ごみ散乱」の碧南市 今のごみ袋なくなるまで利用に。可燃路線回収の改善を



ごみ有料化の計画
 R9、4月～110円/10枚の販売開始
 R10、3月末まで現行の袋、利用可能
 R11、4月～220円/10枚の価格倍加

え過去のものは使えないと、愚策を示しています。在庫処分、変更の費用のムダ、市民の「節約、ごみ減量」の意識を踏みにじることになりま

市は、可燃ごみの路線回収の改善。資源ごみの恒常的な回収場所の設置など、

朝7時前にカラス被害

小池市長のもとで、ごみ袋の有料化が計画されている碧南市。しかし全的に、可燃ごみの散乱が広がっています。生ごみなどが入っているごみをカラスがあさり【写真⑤】のように散らかっています。市民の方が、掃き清めていただいています。状況は広がるばかりです。

ステップ乗車厳禁のもとで

碧南市内の可燃ごみは、市内を民間3業者に分けて路線方式で回収しています。パッカー車の後のステップにつかまって作業がされていましたが、最近警察から「厳禁」の指導がされました。収集車の助手席に2人乗って3人で収集することになったのです。業者からの「歩いて回収するのは重労働」との訴えで、補正予算で委託費の増額がされました。

路線方式見直しの時では

現在の「路線方式」は家の近くにゴミを出すことができる。回収後は回収場所がわからないため不法投棄されにくい利点があり今まで継続してきました。

市内では、市民が自主的に「カゴ」を購入して設置している所もあります。【写真⑥】また西端地区の八剣社近くには、市が資源ごみ用のカゴを提供している場所もあります。

長崎市の折たたみ式回収場所を

長崎市では観光地でもあり【写真⑦】のように折たたみ式の可燃ごみ回収場所。常設の資源ごみ回収、蛍光灯などの回収容器を設置しています。ぜひ碧南市も導入し、清潔で回収労働者の負担軽減を図るべきではないでしょうか。

市は負担強化、予算カットだけ

市は、市民の苦情に「黄色のネットを配布」「個別の相談に答える」のみで、根本的な改善対策をやれていません。またごみ袋の有料化に対して、2回のモデルチェンジを行うとしています。袋の形態を変



長崎市

資源収集④
 折畳式、可燃集積
 蛍光灯の改修



個人が置いた可燃ごみ入れ物
 碧南市が置いた可燃袋入れ

ごみ減量への市民との協力を全力挙げて行なうべきです。

ニューヨーク市長を誕生させた「アメリカ民主的社会主義者」(DSA)から 沖縄シンポジウムへ連帯メッセージ

安保条約の廃止へ

那覇市で6月6日に開かれた沖縄シンポジウムに「アメリカ民主的社會主義者」(DSA)から動画メッセージが寄せられました。下のQRコードから、見る事ができます。



DSAのキャンペーンと一致

「沖縄平和シンポジウムの友人の皆さま、同志の皆さま、こんにちは。私の名前はプリン・ダンです。私はアメリカ民主的社會主義者(DSA)のニューヨーク市支部に所属しており、DSA国際委員会の運営委員を務めています。

全国革新懇およびその加盟団体が、今回の平和シンポジウムを開催されたことをお祝します。また、日米安全保障条約の廃止に向けた取り組みを通じて、軍国主義との闘いを前進させ続けているみなさんの活動に感謝します。みなさんの取り組みは、DSAのキャンペーンとも一致しています。例えば、米国主導のイランに対する戦争に反対する組織活動などです。現在、私たちは、わが国の侵略を終わらせることをめざして、議会で「戦争権限決議」を可決させる取り組みを支援しています。反軍国主義は、私たちに共通する重要な価値観です。

アメリカの圧迫との闘いを

アメリカの帝国主義は私たちすべてを圧迫しており、より良い世界を構築するための必要条件として、世界中の左翼の組織者や活動家には、これに反対する義務があります。沖縄における米軍の存在は、日本の管轄外であり、そこに駐留する兵士たちは、いかなる報いも受けることなく、好き勝手に振る舞うことができます。

従属から対等へ

軍事的な優位性によって日本国民が米国に従属させられ



DSA国際委員会の運営委員
プリン・ダン

NO WAR 沖縄シンポジウム

憲法を生かす「命どう宝」

2026年 6/6 15:00~17:30

パレット市民劇場(那覇市) 主観400円

講演者: 赤嶺 政賢

パネリスト: 高良 沙穂, 山口 雅史, 藤原 貴子, 比嘉 福也, 藤原 玉緒

ているというこの現状は、維持不可能なものであり、平和と協力に基づく両国間の対等な関係へと置き換えられなければなりません。米国の好戦政策と軍事費に反対することは、DSAメンバーの間で普遍的な合意となっています。これはどこでも当てはまります。

米軍の撤退を支援

2021年、DSA国際委員会は、沖縄における米軍の拡張に反対するため、全交(平和と民主主義をめざす全国交歓会)と連携し、今日に至るまで、沖縄から米軍を撤退させる取り組みを支援し続けています。

国内的には、米国で、帝国主義が帝国の歯車を回し続けるために必要とする、制御不能な軍事費に反対しています。

米の軍拡反対、反核を要求

トランプ政権は、すでに1兆ドルに達している米国の軍事予算を1.5倍に増額することを提案しており、日本政府に対しても軍事費の増額を迫っています。

命を破壊するための銃、ミサイル、あるいは飛行機に費やされる1ドル、1円は、すべて、誰かの食糧、住居、あるいは医療のために、その人の人生を築き上げるために使えなくてはならないのです。核兵器の脅威について触れないわけにはいきません。

日本共産党との交流

今年の4月、私は幸運にも、ニューヨーク市を訪れていた日本共産党の代表団の方たちとお会いしたDSAグループの一員となることができました。

私たちは、それぞれの組織活動や、社会主義者としての共通の価値観について話し合いました。米国は戦争で核兵器を使用した唯一の国であり、日本はそれらの兵器の犠牲となった唯一の国です。これは、人類の歴史上で二度と繰り返されてはならない忌まわしい行為でした。

DSAは核兵器の完全廃絶に尽力しており、米国による核兵器のさらなる増強に向けたあらゆる動きに反対しています。私たちは、革新懇の皆さんと、反軍国主義運動の経験を共有できたことを感謝しています。

私たち全員が置かれている帝国主義的支配のシステムに代わるものを築き上げながら、皆さんと共に闘いを続けていくことを楽しみにしています。今回の沖縄平和シンポジウムの開催を心よりお祝い申し上げます。そして、永遠の連帯を! (日本共産党の外交力、すごい!!)

アメリカ・イスラエルは
イラン攻撃の中止を

NO WAR DIALOGUE

日本共産党

大軍拡・増税許すな

へきなん19行動

6月19日(金)

午前11時~12時 ヒアゴ碧南東店

碧南市東浦町6-17 日進小学校南

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
日曜版 990円

碧南市議会議員団のホームページをご覧ください

日本共産党碧南市議団

市議会議員 山口はるみ 42-8940 三度山町 2-70-4

市議会議員 磯貝明彦 48-2718 若松町 3-253